



EL COMPAS

えるこんぱす

No.
58
2024.3.31

Contents

▶ 巻頭言	p1	▶ 連載シリーズ② 「図書館探検隊」	p12-13
▶ 図書館運営委員からのメッセージ	p2-5	▶ 図書館活用法	p14-17
▶ 学生選書ツアー報告	p6-9	▶ 図書館ダイアリー	p18-19
▶ 図書館サポーター活動のご紹介	p10-11	▶ 2023年度 各キャンパスの企画展示図書より	p20

巻頭言

「図書館の権利宣言 (Library's Bill of Rights)」が誕生した歴史的背景

付属図書館長 木全 和巳

アメリカ合州国のノーベル賞作家ジョン・スタインベックによる小説『怒りの葡萄 (The Grapes of Wrath)』を読んだことがありますか。初版は1939年。1930年代末に発生した干ばつと砂嵐を契機とした農業の機械化を進める資本家たちと、土地を追われカリフォルニアに移っていった貧困農民層との軋轢闘争を素材とした小説です。「人々の魂の中に 怒りの葡萄がずっしりと実っていく 収穫を待ちながら」という有名な一節があります。ここには自分たちの労働の果実が地主のものになり、自分のものにならない農民たちの怒りが凝縮されています。

作品の舞台となったオクラホマ州とカリフォルニア州においては擁護する声よりも非難する怒号が圧倒的に大きくなり、オクラホマ州では多くの図書館では禁書扱いとなりました。こうした図書館からの除去運動がきっかけで、「図書館の権利宣言 (Library's Bill of Rights)」が生まれました。この宣言には、「すべての図書館が情報と思想のひろば」であり、「図書館の利用に関する個人の権利は、その人の出身、年齢、経歴あるいは見解によって拒否され、または制限されることがあってはならない」、「表現の自由および思想の自由の抑圧に抵抗することにかかわるすべての人びと、団体と協力すべき」などと書かれています。

2023年12月6日。イスラエル占領軍はガザの中央公文書館を破壊し、歴史的文書を処分しました。90年前、ナチスドイツの時代、国家主義者の学生が「非ドイツ的な」本を燃やし、トーチを掲げながら「非ドイツ的魂への抵抗」の行進をしています。国家による検閲と文化の支配の時代の到来を告げる事件になりました。過去にされた側が現在ではする側に。この時、学生たちによる「焚書」運動によって本を焼かれた詩人ハインリヒ・ハイネは、「本を焼く者は、やがて人間も焼くようになる」という言葉を残しています。

わたしは、いま、図書館長をしています。このような時代だからこそ、「図書館の自由」について、改めて関心をもちつつ、「知る権利」が脅かされないようにしていきたいと考えています。

図書館運営委員からのメッセージ

～新入生へのお勧め本～

42年ぶりの続編はおもしろいけれどとても重たい

社会福祉学部教員 木全 和巳

みなさんは、もう読まれましたか？42年ぶり、待望の続編。『窓ぎわのトットちゃん』が刊行されたのは1981年。わたしが大学2年生の時でした。悩み多き青年の時代。あれから42年。待望の続編が出版されました。すぐに買って読み始めました。名古屋の自宅から大学のある美浜まで片道ざっと2時間。往復の電車の中ですぐに読めてしまうはずでした。それがなかなか読み進めません。理由は、前半のトットちゃんの「戦争体験」の記述にあることに気づきました。東京大空襲の時、トットちゃんは11歳。青森への疎開をはじめトットちゃんの戦争体験が綴られています。短くわかりやすくかつユーモラスな文体であるがゆえに、かえって一つひとつの場面を想像してしまい次が読めなくなっていたのです。その都度、本を閉じて、目を瞑り、想像にふけります。ネットで観てしまったガザの映像が重なります。電車で揺られつつ、いつの間にか寝ている自分。現実逃避だったかもしれません。こんなことを繰り返していたら、4日もかかってしまいました。たった一冊の本の続刊が、40年以上前の自分の記憶を蘇らせます。そして、綴られたトットちゃんの戦争体験がいまのガザの子どもたちと重ね合わさるようなかたちとなって脳裏によみがえります。たかが本を読むという行為ですが、されどという奥深さがあります。映画も公開されました。みなさんも40年を経て、思い出となる本に出合えると良いですね。

お勧めする図書



『続 窓ぎわのトットちゃん』
黒柳 徹子 著
講談社 2023

世界で最初に飢えるのが日本って本当?!

教育・心理学部教員 赤石 憲昭

日本の食料自給率がどれくらいか知っていますか？カロリーベースの自給率は、現在38%だそうです。戦後直後の1946年には88%だった数値がどんどん減っています。みなさんの中には「まだ4割近くあるから大丈夫だろう」と思う方もいるかもしれません。しかし、大丈夫どころか、このままでは「世界で最初に飢えるのは日本」と警鐘を鳴らしているのが、今回紹介する本です。たとえば、日本は野菜自体の自給率は80%ですが、種も肥料の原料もほぼ輸入に頼っています。輸入あつてのこの数字で、真の自給率は8%にすぎません。輸入が永続的にきちんとできればよいですが、コロナや昨今の戦争によって、物流がストップしたり、値段が高騰する場合があります。世界的な食糧不足になれば、他国も輸出を控えるでしょう。そう考えると、日本の現在の状況は非常に危機的であることがわかります。日本の危機は食料だけではないのですが、まずはこの問題から考えてみましょう。

お勧めする図書



『世界で最初に飢えるのは日本：食の安全保障をどう守るか』
鈴木 宣弘 著
講談社 + α新書 2022

泳げないって悪いこと？でも泳げると……

スポーツ科学部教員 吉田 文久

「水が怖い」、「プールが怖い」という著者が、水泳教室に入り、そこで指導を受けながら抱いた心の葛藤が克明に描かれています。そして最後には「きれいに泳げる」ところまでに。体育の授業で、なぜ、泳げないといけないのかと疑問を持ち、泳げないためにつらい思いをして水泳嫌いになった学生さんたち、この先水泳指導に携わることがある学生さんたち必読の本です。泳げる人には泳げない人の気持ちを理解するいい機会にも。2022年6月に映画化されました。



お勧めする図書



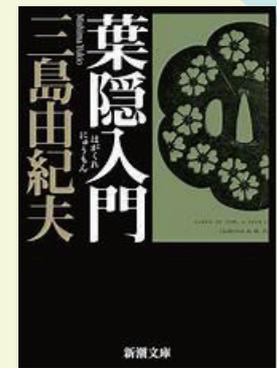
『はい、泳げません』
高橋 秀実 著
新潮文庫 2007

スティーブ・ジョブズ氏の死生観と『葉隠』の思想 -「毎日を精一杯生きる」

経済学部教員 橋口 徹

米アップル社の共同創業者である故・スティーブ・ジョブズ氏は、2005年米スタンフォード大学卒業式での有名なスピーチで、毎朝鏡に映る自分に「もし今日が人生最後の日だとしても、今からやろうとしていたことをするだろうか」と問いかけていたと話しています。これは江戸時代中期の書物『葉隠』の思想に通じるものです。『葉隠』といえば「武士道といふは、死ぬ事と見付けたり」の一節が有名で、過去に政治的プロパガンダに利用され誤解を受けがちですが、本当は仕事や人間関係などが主な内容であり、現代のビジネスパーソンにとっても有用といえます。「今日という一日を、人生最後の日だと思い定めよ。そして、自分の成すべきことを全うするのだ。」「この一瞬にこそ全てがあるのだ。いざという時、それは今である。」というような一節は、ジョブズ氏の死生観そのものです。彼は禅や和食など日本文化に傾倒し、京都によく訪れていたようですが、『葉隠』思想に影響を受けていたのかもしれない。

お勧めする図書



『葉隠入門』
三島 由紀夫 著
新潮文庫 1983

介助が必要な人と、 必要な仕事をする人を、支える社会学

社会福祉学部教員 小林 勇人

福祉で介護をイメージする人も多いかもしれませんが。介護の「護」に「保護」の意味があることを嫌って、介助を使う人もいます。コロナ禍で再発見されたように、介助（や介護）は必要不可欠な仕事です。にもかかわらず、給料が低く人手不足で大変では？という疑問が浮かぶかもしれません。本書は、そんな介助の仕事や制度・組織・変革について、社会学者が分かりやすく書いた入門書です。少子高齢化や人口減少により働き手が不足しているとよく強調されます。しかし、著者は社会全体として人は余っていると主張します。介助で人手不足なのは、単に報酬が低いからであり、報酬を高くすれば解決できると説きます（時給1,500円で2000時間働けば、月25万円や年300万円になる）。そのうえで介助は、「主体性」が少なくてすみ、学生バイトや定年後に行うのに、また「ひきこもり」の再起として、さらに田舎に適している、魅力的な仕事であると教えてくれます。

お勧めする図書



『介助の仕事
一街で暮らす／を支える』
立岩 真也 著
筑摩書房 2021

読書を通じて不確実な人生を 生き抜く力を手に入れよ

国際福祉開発学部教員 張 淑梅

新入生の皆さんに本書をお勧めする理由は、著者が読書の意義と方法について多くのヒントを与えてくれるからです。今日のグローバル社会を生き抜くためには、これまで以上に幅広い体験と学習が必要です。本学部では多くの体験の機会を提供していますが、1人の人間が一生の間に実体験できることには限りがあります。そのため、本を読むことで、人間には実に様々な考え方や見方、価値観があることがわかり、それら人間の様々な思考の軌跡を、読書を通じて容易に追体験することができます。また、本学部の教育目的の1つは学生の皆さんの思考力を養うことです。しかし、考えるといっても、考えるための材料と枠組みがなければ、物事をきちんと考えたり、思考を発展させたりすることができません。そのため、読書は、「考える材料」を集め、「考える枠組み」を構築するためにもっとも有効な手段と言えます。皆さんにはぜひ本書を通じて読書のスキルを身に付けていただきたいと思います。

お勧めする図書



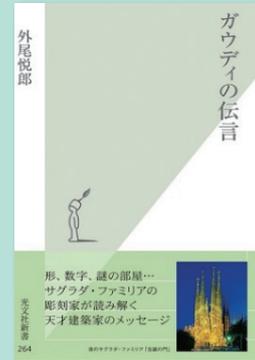
『人生を変える読書：人類三千年の叢智を力に変える』
堀内 勉 著
Gakken 2023

サグラダ・ファミリアと日本人彫刻家

健康科学部教員 田口 修

スペイン・バルセロナにある『サグラダ・ファミリア』をご存知でしょうか。NHKの特集や今年1～3月に名古屋市美術館で特別展が開催されましたので関心をもった人も多いと思います。建築家『アントニ・ガウディ（1852-1926）』が手掛けた壮大なキリスト教の大聖堂であり、2005年には世界遺産として登録されています。19世紀の終わりに建設が始まり、140年を経てようやく完成への道が見えてきたというサグラダ・ファミリアについて、著者の外尾悦郎氏は、神の建築家と言われるガウディの建築思想を紐解きながら、わかりやすく魅力ある筆致で説き明かしてくれます。例えば、聖堂本体が巨大なパイプオルガンのような楽器になることや、自然の秩序・植物の形状を取り入れている点を敬意の念とともに語っています。「ガウディは本当に人間を幸せにするものをつくろうとした」。日本人でありながら25歳より彫刻家として携わり、その深い洞察と賛辞が読者にも伝わる素晴らしい本です。

お勧めする図書



『ガウディの伝言』
外尾悦郎 著
光文社 2006

ナイチンゲールが現代に生きていたら

看護学部教員 藤田 佳子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本書は、近代看護の母であるナイチンゲールの生誕200年を記念して出版されました。ナイチンゲールは、18世紀の産業革命の時代に幅広い見識を活用して、疾病の発生率や有病率を調査し、観察力を用いて看護の開発を行い、病院の管理や建設に関わっていました。

コロナ禍でDX（デジタル・トランスフォーメーション）化が進んだ現代に、もしナイチンゲールが生きていたら、どのような看護を創造していくのでしょうか。AIやデータサイエンス、ロボットやサイボーグ技術、VR技術、ヒューマン・ビッグデータなど様々な分野と看護がリンクしたとき、看護の本質を維持しながら看護の可能性がどう拡大するのかについて述べられています。皆さんも読書をとおして、未来の看護について考えてみませんか。

お勧めする図書



『ナイチンゲールの越境9 人工知能はナイチンゲールの夢を見るか？』
山海 嘉之、吉藤 オリィ、熊崎 博一、吉川 雄一郎、石黒 浩、青山 一真、神原 咲子、
水流 聡子、為末 大、三宅 陽一郎、尾藤 誠司、ドミニク・チェン 著
編者：服部 桂、宮川 祥子
日本看護協会出版会 2022

2023年度 「学生選書ツアー」を 開催しました!

学生選書ツアーは、学生が「図書館に置いてほしい」「他の学生に読んでほしい」と思う本を書店やWeb上で直接選ぶイベントです。2023年度は2回実施し、前期15名、後期12名ご参加いただきました。ここでは、後期に選ばれた本を紹介します。



展示期間(3館で入替します)
①11月22日～12月22日
②12月26日～1月29日
③2月1日～2月26日

2023年度後期学生選書ツアー
実施しました!

10月19日、5名の学生さんが丸善名古屋本店に集合!また、この週に7名の学生さんがオンライン参加で、図書館で購入して読んでみたい本、みなさんにも読みたい本を真剣に選んでくださいました。ぜひ手にとってご覧ください。

日本福祉大学付属図書館

参加学生からみなさんへのメッセージ!



経済学部 4年

『ティール組織』

大学内の組織運営、企業の人事に内定した4年生、人事を希望している学生、組織を作りたい学生。以上の該当者は読んで!

フレデリック・ラルー 著 鈴木立哉 訳 嘉村賢州 解説 英治出版 2018



学生によるオンライン選書

教育・心理学部 2年

『小説の小説』

帯にも書かれていますが、この小説に「常識」は似合いません。広げると別物になる物語。著者が1文字も書かない物語。ルビだらけの文章。どれ一つとっても吞まれます。

似鳥鶏 著 角川書店 2022



経済学部 3年

『ギフト』

～忙しさの中で見落としている「贈り物」をあなたへ～
日常の中に潜む小さなしあわせ。相手になにかをしてもらった喜び、なにかを相手に贈った喜び…そんな小さなしあわせが描き出されている短編集。
恋愛ストーリーあり、涙ありとほっこりするお話がつまっています!

原田マハ 著 ポプラ文庫 2021



経済学部 1年



『科学がつきとめた「運のいい人」』

運というものがあなたの将来を変えるかもしれません！私のこれまでの人生も、運のいいときもあれば、とっとも悪いときもありました。

では、どうしたら、自分の運をよくすることができるのでしょうか？ぜひ、この本を手にとって考えていただけると嬉しいです！

中野 信子 著 サンマーク出版 2013

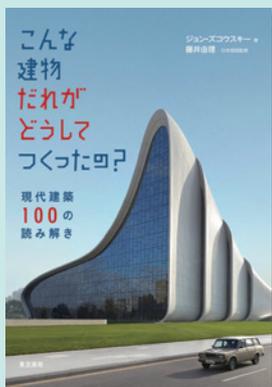


経済学部 4年

『時間は存在しない』

この世界の常識を疑ってしまいそう。時間とは己自身が作り出した物にすぎない。これを読まずして、生死、宗教、哲学を語れない。量子物理学、熱力学、脳科学の視点からこの世界を探検してみたい人におすすめ。

カルロ・ロヴェッリ 著 富永星 訳 NHK出版 2019



健康科学部 1年

『こんな建物だれがどうしてつくったの？ 現代建築100の読み解き』

この本は建物が建てられた意義や歴史的背景などがわかりやすく解説されています。建物にこめた建築家の思いが具現化されており、魅力にあふれた建築が数多く見られます。建築に興味のある人や一風変わった建物が好きな人にたいへんオススメの一冊となっております！

ジョン・ズコウスキー 著 藤村 奈緒美 訳 東京美術 2017



教育・心理学部 4年

『化学探偵 Mr. キュリー』

四宮大学庶務課（何でも屋）で働くことになった社会人2週目の七瀬舞衣が理学部化学科の沖野春彦准教授（またの名を Mr. キュリー）と共に大学で起こるアレコレを解決する「化学ミステリー」。化学が分からなくても楽しめちゃう1冊。「化学×ミステリー＝最高！」

喜多 喜久 著 中央公論新社 2013





教育・心理学部 1年

『悪い夏』

生活福祉課が舞台となる貧困社会のリアル。登場人物全員が救われない、重々しい内容となっている。いとも簡単に道を踏み外し、転落していく人間達の末路とは。誰もが陥るかもしれない負の連鎖のお話。

染井 為人 著 角川文庫 2020



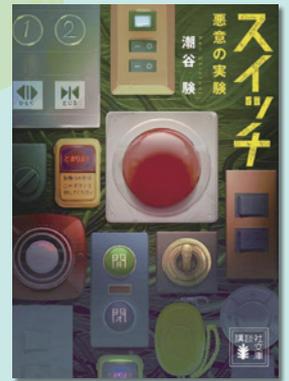
学生選書により受け入れられた企画展示図書

教育・心理学部 2年

『スイッチ 悪意の実験』

このスイッチは、押しても押さなくてもあなたは100万円を貰うことができます。そして、このスイッチを押すと、関係ないパン屋を営む幸せな家族が破滅します。それでもあなたは、本当に押しますか？

潮谷 駿 著 講談社 2022



教育・心理学部 4年

『満月の夜に君を見つける』

人と関わらずに生きている僕は儂げな雰囲気をもとう少女と出会う。2人は絵を通じて仲良くなっていき、お互いに惹かれていきます。しかし、彼女はとある運命を背負っていました。その運命に僕はどのように向かうのか、ページを読む手が止まりません。色が見えないこと。あなたはどう思いますか？2人の名前にも注目です！

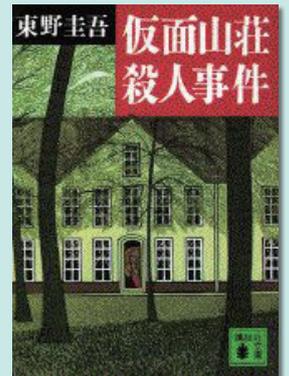
冬野 夜空 著 スターツ出版 2019

社会福祉学部 3年

『仮面山荘殺人事件』

舞台は8人の男女が集う山荘。そこに逃亡中の強盗2人が侵入!!そして1人が殺される!犯人は強盗の2人が、それとも山荘に集う男女のうちの誰かか…。ハラハラドキドキ!驚愕の結末ありのノンストップミステリーです!お気になられた方はぜひ、読んでみてください!!

東野 圭吾 著 講談社 1995



『茜さす日に嘘を隠して』

この本は女性の真下みことさんが執筆された大人になりかけの「女性たちの物語」。もう一冊の「青く滲んだ月の行方」と対になっており、2冊とも読むことをおすすめします。自分の知らないこと、逆に知っている感情がどこかで見つかるかも…かもしれません。



『青く滲んだ月の行方』

この本は男性の青羽悠さんが執筆された大人になりかけた「男性たちの物語」。もう一冊の「茜さす日に嘘を隠して」と対になっており、ペアで読むことをおすすめします。どこでどう物語が繋がっているのか探してみてください。あなたはどこに共感しますか？



『いくつになっても、「ずっとやりたかったこと」をやりなさい。』

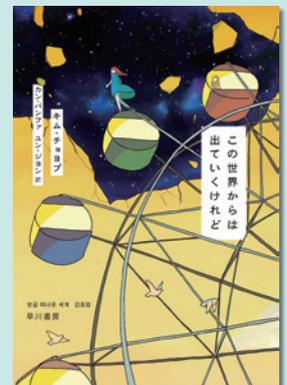
- モーニング・ページ 「朝起きたらノートを開く」「なんでも書き出す」「誰にもみせない」
- ソロ・ウォーキング 「週に2日」「20分間」「何も持たずに散歩」
- アーティスト・デート 「週に1日」「1時間」「ひとりで出かける」
- メモワール 「週に1日」「今までを12個にわける」「質問に答える」

できるものやりたいものをできるやり方でいろんな人の話を聞きながら自分のことに目を向ける。3か月の創造性を広めるコース

『この世界からは出ていくけれど』

“ローラがほほ笑みながら言った。「だけど、一つだけはっきりさせておきたいの。あなたはわたしのためじゃなく、あなた自身のためにその旅をしたのだということを」 - 「ローラ」より抜粋-

収録されている7作品の中で一番好きだなと思ったものから、なんかいいなと思った文を抜粋しました。SF短編集「この世界からは出ていくけれど」は早川書房大学SF学部人間社会学科理解（不理解）・共存専修みたいな感じの本です。ほとんどの作品が語り手と対象、一对一の関係を中心に話が展開されていきます。兵器!!宇宙!!滅亡!!といった超スペクタクルSFではなく、2つの個人・2つの感覚・2つの世界の出会いと別れを精緻に編み上げた、「すごくふしぎな」寄りのSF小説だという感覚を受けました。この本を手にとった誰かが多数派でも少数派でも、それぞれ自分の現実を生きているのだと考えるとなんだかおもしろい気持ちになります。PN. 最近肩こり辛いんだけど。



図書館サポーター 活動のご紹介

2023年度は、美浜 9 名、半田 6 名、東海 3 名（計18名）と、たくさんの学生が図書館サポーターの活動に参加してくれました。サポーターのみなさん、1年間お疲れさまでした。2024年度も引き続きよろしくお願ひします。



2023年度に取り組んだこと

1) サポーター企画展示（6月後半～3月末）

サポーターが様々なテーマを設定し、選んだ図書を各キャンパス図書館に展示（貸出）しました。

〔展示テーマ例〕

- * 本屋大賞にノミネートされた作家の隠れた名作
- * サポーターお勧め本
- * ミステリー小説・未解決問題
- * 恋愛小説
- * 読書をしてみよう
- * 隠れた名作

2) 本のお楽しみ袋（12月～3月末）

サポーターお勧め本を入れた「お楽しみ袋」をつくりました。何冊か選び、その本を「袋」に入れています。どんな図書が入っているかは借りてからのお楽しみ。

3) 切り絵展示／しおりづくり

サポーターによるクラフト作品です。作成したしおりは図書館カウンターで配布中です（数量限定）。

- * 切り絵作品の展示（5月）
- * しおりの作成・配布（12月～3月末）

4) 同人誌づくり（1月～3月末）

サポーターが執筆した小説などを同人誌としてまとめました。

図書館サポーターについて

本や図書館が好きな学生があつまり、図書館を拠点としてやってみたいことを企画し、活動しています。新メンバー募集中！

★お問い合わせは図書館課まで nfulib@n-fukushi.ac.jp

図書館サポーターの声

図書館サポーター活動を振り返って

経済学部3年 野間 亜弥

今年度は、東海キャンパスでも図書館サポーターの活動が本格化し、テーマに沿った本をPOPと共に展示する「企画展示」を主に行いました。自分のおすすめの本を紹介するだけでなく、この企画を通して出会えた本もあり、大変いい機会となりました。

来年度は、他キャンパスのサポーターとの合同企画なども行って、読書好き同士で交流を深め、日本福祉大学の図書館を盛り上げていきたいと考えています。

図書館サポーター活動紹介&一年の振り返り

教育・心理学部1年 西脇 義貴

企画展示をしたり、同人誌をつくったりして、図書館を盛り上げています。定期的にメンバーと顧問の先生方で集まって進捗状況の報告をしたり、今後の方針を決める打ち合わせが開かれます。お昼休みに集まることが多いです。2023年は、恋愛というテーマで本の展示を行い、同人誌用の小説を書きました。また、袋の中に本を入れて、借りてみるまでどんな本かわからない本の福袋という企画を行いました。ただ、本の中身がまったくわからないとアレなので袋の表紙にその本に関するちょっとした情報や魅力を書きました。また女子サポーター2人がオシャレなしおりを作ってくれました。

2023年は、個人的に非常に充実した年でした。企画展示という場をお借りして自分が好きな本の魅力を紹介することができてとても満足でした。さらに今年は毎週リレー形式で小説の続きを書いていき、一つの物語を完成させるという新しい試みに挑戦しました。サポーターとは別にメンバー3人で図書館内の一室を予約して、活動していました。人数が少ない分自由度が高いおかげでこういったことができたのかなと思います。今まで小説を書いたことがなかったのですが、今回のことがきっかけで小説を書く楽しさに目覚めました。また、福袋の表紙のデザインを任せていただきました。

図書館サポーター活動を振り返って

健康科学部福祉工学科1年 古川 智也

企画展示を通して思った事は、普段から本屋さんを利用している人は勿論、いつもは漫画コーナーだけ行くみたいな人でも、わかりやすい紹介文、挿絵などでその本の内容が分かるので、本をあまり読まない人でも手に取りやすいと感じました。

選んでいる時は友達のプレゼントを選んでいるみたいで、「この本を他の人が読んだら楽しんでくれるかな」と考えながら選ぶことが出来ました。とても学ぶ事が多く貴重な体験で楽しかったです。

今回の企画展示は他の人の需要を考えて選ぶことが出来る良い体験だと考えています。来年度はもっと人が来て皆の意見を聞きながら企画展示をしていけたらと感じました。



サポーター展示



切り絵展示



しおりづくり

「図書館探検隊」

～学園創立70周年の1コマに焦点をあてて～

2024年度、本学は1953年の創立から71年目を迎えます。

今回の「図書館探検隊」では、『本学図書館に所蔵する知られざる資料、そしてひと』を切り口に、本学にゆかりのあった人物に関連する図書館資料をご紹介します。

● 浅賀文庫のご紹介

本学名誉教授で愛知県半田市出身の浅賀ふさ先生（1894-1986）は、日本における医療ソーシャルワーカーの草分け的存在として、広く社会福祉の発展に寄与されました。「浅賀文庫」は生前の先生からご寄贈いただいた図書館所蔵コレクションです。

医療ソーシャルワーク、家庭福祉、とくに家族やケースワークに関する分野の文献が中心です。

米国家庭福祉協会や米国医療ソーシャルワーカー協会・米国ソーシャルワーク会議・全米社会福祉関係の資料も貴重です。

所蔵タイトルの詳細はこちら ▶ <https://library2.n-fukushi.ac.jp/asaka/index.htm>



「浅賀文庫」展示（美浜本館）



浅賀ふさ先生による本学での最後の記念講演。
「福祉大学において何を勉強すべきか」
(1974年1月25日)



「浅賀文庫目録」より

● 学園創立70周年記念事業 パネル展 「浅賀ふさ先生と日本福祉大学」

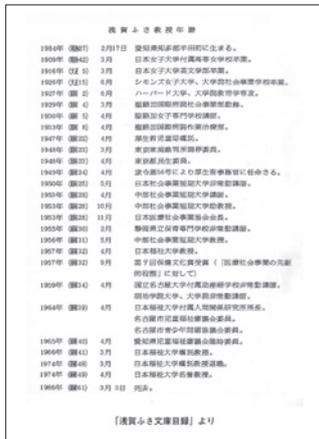
2023年11月4日、大学祭の開催とあわせて、パネル展「浅賀ふさ先生と日本福祉大学」を美浜本館 学修工房において開催。本学学生、教職員、卒業生、地域の方等約50名が来訪されました。会場内では、浅賀文庫所蔵の先生に関する新聞記事、ご自身が作成された講義ノート、書作など10数点のパネルの展示等を行いました。



展示パネルを見ながら来館者に説明



展示パネル
(創立25周年によせられたメッセージ)



展示パネル「浅賀ふさ教授年譜」
(「浅賀文庫目録」より)



展示パネル
(創立のころ)



展示パネル
(浅賀先生の著作、掲載誌)

● 学園創立70周年記念事業 ラジオドラマ 『さいしょの一步～浅賀ふさ物語～ 知多半島が生んだ日本初の医療ソーシャルワーカー』

浅賀ふさ先生の生涯、社会活動への情熱と功績をラジオドラマで再現。2023年12月に4週にわたり、CBCラジオで放送されました。

★ラジオドラマは、こちらのサイトからお聞きいただけます。

<https://www.n-fukushi.ac.jp/70th/radio/>



図書館活用法

LibrariE (ライブラリエ) 電子書籍配信サービスを始めました！

2023年12月に、本学図書館の電子図書館サービスに『紀伊国屋書店 LibrariE』（ライブラリエ）が新たに加わりました。一般書、文芸書、実用書、ガイドブック、英語多読本、本学講義推薦図書などの電子書籍を利用できます。随時、タイトルを充実させていきますので、ぜひご利用ください。

1. LibrariE サービスの利用対象者について

□利用対象者は、本学学生・教職員です。



2. LibrariE サイトにアクセスし、ログインする

□本学図書館ホームページのライブラリエサイトに**本学アカウント**、**パスワード**で**ログイン**します。

□PC、タブレット、スマートフォンなどで、学内外から利用できます。

https://web.d-library.jp/NFU_lib



3. 電子書籍を借りて、読む

□電子書籍の同時アクセス数は基本1です。

□ライブラリエサイトで読みたい電子書籍を探し、「**借りる**」ボタンを押してください。

□貸出完了画面が表示されますので、すぐ読む場合は、「**読む**」ボタンを押します。

□ブラウザのウィンドウを閉じればいったん終了、次回の閲覧時は続きから表示されます。

□貸出期間が終了すると、自動返却されます。

□貸出期限以前に返却する場合は、「**返す**」ボタンを押してください。

□貸出延長はできません。

□ライブラリエサイトでは、「借りる」前に、電子書籍の「**試し読み**」ができます。

□本学所蔵目録（OPAC）でライブラリエの電子書籍を検索することはできません。

（丸善 e-book、紀伊国屋書店 kinoden で読むことができる電子書籍はOPAC検索可）

電子書籍の探し方

その③ 新着資料（新着一覧）から探す

その① フリーワード（空欄）検索で（全件一覧）から探す

その② フリーワード検索で探す

その④ ジャンル（分野別一覧）から探す

4. 電子書籍を予約する

- 電子書籍の同時アクセス数は、基本1です。
- 読みたい本を他の人が借りているとき、「予約する」ボタンを押せば、借りたい本を予約することができます。
- 予約している電子書籍が利用できるようになると、マイページトップ画面にメッセージ（ご予約中の資料がご用意できました！）が表示され、置き置き期間中（8日間）に貸出できます。「借りる」ボタンを押して、貸出完了となります。
- なお、予約している図書が返却されてもお知らせのメールは届きません。
置き置き期間が過ぎたら自動的に予約解除されますので、LibrariE（ライブラリエ）に適宜ログインし、予約図書の返却確認をお願いします。

5. 電子書籍の貸出条件について

- 貸出条件は次のとおりです。
 - ① 貸出冊数：2冊まで（冊子図書の貸出冊数には加算されません）
 - ② 貸出期間：2週間まで（延長はできません。期限がきたら自動的に返却されます。）
 - ③ 貸出予約：2冊まで（返却された図書の置き置き期間は8日間です）

その他の電子書籍配信サービス

主に専門書を対象とした電子書籍配信サービスも行っています。
それぞれ簡単な「利用マニュアル」を用意しています。ぜひ利用してみてください。

- 「MARUZEN ebook Library」
https://library2.n-fukushi.ac.jp/images/maruzen_doc.pdf
- 「KinoDen」
https://library2.n-fukushi.ac.jp/images/kinoden_doc.pdf



図書館学習支援サイトのご紹介

図書館では、皆さんの学習活動に役立てていただく目的で【学習支援ポータルサイト】を開設し、授業での課題・レポートの作成、卒業論文の執筆など、さまざまな学習場面で必要とされる文献資料の収集方法やレポート・論文の書き方などの情報を提供しています。

学習支援ポータル

<https://library2.n-fukushi.ac.jp/lib-navi/>

1. どのようなことを知りたいですか。該当するものを選択ください。



(選択メニュー)

レポート・論文の書き方について知りたい (課題、試験、卒論等)

- ▶ レポート・論文の書き方の基本について学びたい
- ▶ レポート書き方講座
- ▶ **レポート・論文の書き方を学ぶ**
- ▶ **レポート・論文作成のプロセス**
- ▶ 大学生のレポート作成法入門 DVD 所蔵確認
- ▶ 大学生のレポート作成法入門 DVD の内容について
- ▶ オンデマンド版図書館利用セミナー利用セミナー (学修編) で本学所蔵資料の概要を学ぶ
- ▶ オンデマンド版図書館利用セミナー利用セミナー (論文編) でレポート・論文作成に必要な情報入手方法を学ぶ

レポート・論文作成に関する本を探したい

レポート・論文作成に必要な文献を入手したい

レポート・論文作成に関する相談がしたい

文献を探したい (集めたい)

- ▶ 図書館の資源 (資料・電子) を探す
- ▶ 本を探したい
- ▶ 新聞記事を探したい
- ▶ 雑誌記事論文・文献を探したい
- ▶ オンラインで相談する

資格取得や業界・企業研究、就職・面接に関する情報がほしい

- ▶ 資格取得に関する資料・情報について (キャリア資料)
- ▶ 業界・企業研究に関する資料・情報について
- ▶ 就職活動・面接・実習等に関する資料・情報について相談する

実習に関する図書・雑誌を利用したい

- ▶ 実習種別ごとの図書・雑誌情報
- ▶ 各キャンパス事務室担当と相談する (窓口案内ページへ)

図書館の使い方が知りたい

- ▶ 図書館のサービスが知りたい
- ▶ 図書館施設を利用したい
- ▶ 図書館の施設を来館して使う

電子資料 (電子書籍、DB・EJ) を利用したい

- ▶ 自宅等学外から電子資料を利用したい (図書館リモートアクセスサービスを利用する)
- ▶ 学内から電子資料を利用したい

障害学生支援について知りたい

- ▶ 図書館での障害学生サービスについて知りたい
- ▶ 相談する

その他の相談

- ▶ 学習方法、学習の進め方について相談したい
- ▶ その他の図書館利用について相談する

2. メニューを選択すると、詳細説明画面が表示されます

【レポート・論文の書き方を学ぶ】サイト

レポート・論文の書き方について知りたい (レポート課題、レポート試験、卒論等)

レポート・論文の書き方の基本について学びたい

- レポート書き方講座
- レポート・論文の書き方を学ぶ
- レポート・論文作成のプロセス
- 大学生のレポート作成法入門 DVD所蔵確認
- 大学生のレポート作成法入門 DVDの内容について
- オンデマンド図書館利用セミナー利用セミナー(学修編)で本学所蔵資料の検索を学ぶ
- オンデマンド図書館利用セミナー利用セミナー(論文編)でレポート・論文作成に必要な情報入手方法を学ぶ

レポート・論文の書き方を学ぶ

本学図書館には「レポート・論文の書き方」について、参考となる図書・資料を豊富に所蔵しています。

以下はOPAC検索で、キーワード(件名)として例えば「論文作法」と入力して得られた検索結果です。絞り込む場合は、所属キャンパスの図書館を指定したり(分館指定)、テーマ(例えば「看護学」など)や出版年などで指定して絞り込むことができます。

また、自宅等学外から電子書籍としてすぐに見たい場合は、予め図書館リモートアクセスサービスを利用し、電子ブックを選択して絞り込むことで、電子書籍を利用できます。

・レポート・論文の書き方に関する図書・資料(OPAC検索)

【レポート・論文作成のプロセス】サイト

レポート・論文の書き方について知りたい (レポート課題、レポート試験、卒論等)

レポート・論文の書き方の基本について学びたい

- レポート書き方講座
- レポート・論文の書き方を学ぶ
- レポート・論文作成のプロセス
- 大学生のレポート作成法入門 DVD所蔵確認
- 大学生のレポート作成法入門 DVDの内容について
- オンデマンド図書館利用セミナー利用セミナー(学修編)で本学所蔵資料の検索を学ぶ
- オンデマンド図書館利用セミナー利用セミナー(論文編)でレポート・論文作成に必要な情報入手方法を学ぶ

レポート・論文作成のプロセス

レポート・論文作成のプロセスにおける次の1~6のうち、主に図書館が支援する2~4について説明します。

(コンテンツは、「オンデマンド図書館利用セミナー STEP3論文編」を元に作成しています)

1. テーマの選択
2. 基本情報を探る
3. 関連文献の調査
4. 文献の入手
5. 文献の読解と整理
6. 執筆

【レポートの書き方講座】

レポート書き方講座

詳しくレポートを書く方法に、レポートの書き方のポイントを手と合わせた動画です。「レポートって何?」「どんな手順で書くの?」「レポートを書く時に気をつけることは?」などの疑問ごとにポイントを解説。レポートの書き方に悩んだら、ぜひ参考にしてください。

視聴した感想やご意見をお聞かせください。ご意見いただいた内容は、随時対応し、今後の動画の改善の参考にさせていただきます。

視聴アンケート

VOL.1 レポートって何?

レポート書き方講座 vol.1

レポート書き方講座

1章 レポートって何?

日本福祉大学

まずは動画による説明なら、こちらがお勧めです!

学習支援ポータルのご案内

学生さんの多様な学習ニーズに対応するため、掲載コンテンツは、今後もリニューアルしていきます。

図書館ダイアリー 2023

◎ 学修支援の取り組み 図書館は学生一人ひとりの学びを応援します！

取り組み	時期	実施館	実施内容
図書館利用セミナーの開催	4月～1月	全館	クラス・ゼミなどの授業科目における図書館利用セミナー実施
講義推薦図書コーナー	通年		2023年度開講科目に対応した講義推薦図書の配架
学修支援コーディネーターとの連携講座開催	6月、10月	美浜・東海	「レポート・論文の書き方」をテーマにした学生向け講座の開催
データベース活用講座 (学部の授業、就活支援)	10月	東海	有価証券報告書「eol」の活用方法
学修支援レファレンス相談窓口	12月～	美浜	レポート・論文等相談窓口の設置
学生選書ツアー	5、10月	美浜・半田・東海	書店訪問(名古屋市内) web選書
レポート・論文作成関連展示	4月～1月	全館	レポート・論文作成に関する図書の展示
授業連携展示	10月～3月	東海	テーマ「バイタルサイン」、「沖縄」、「はじめての看護実習」

◎ 図書館資料の充実・利用促進/デジタルライブラリー推進に向けた取り組み

図書館を大いに活用しよう！

事柄	今年度の取り組み	内容
電子雑誌ジャーナル・ 図書館データベースサービスの 提供と利用促進	○アンケート調査により購読タイトルを見直しました。 ○データベース説明会(教職員向け)を実施しました。	利用ニーズの変化に対応するため、毎年度教員へのアンケート調査を実施し、購読タイトルの見直しを行っています。また利用促進のための説明会なども適宜企画開催しています。
貸出型電子書籍「librariE」 (紀伊國屋書店ライブラリー) の導入	○新たな電子書籍サービスを開始しました。	一般書・文芸書・講義推薦図書などがスマートフォンなどから閲覧できます。 貸出冊数：2冊まで(冊子の貸出冊数は含まない) 貸出期間：2週間まで
貴重書のデジタル化推進	○年次的に「草鹿家文庫」、「法音寺資料」等のデジタル化に取り組んでいます。	①「草鹿家文庫」 1989年(平成元年)、当時の草鹿直太郎(光和堂社長)・草鹿外吉(本学副学長)御兄弟より本学にご寄贈いただいた草鹿家代々の方々が収集された蔵書からなっている。江戸時代中期から明治期を中心とした資料(約3,300冊)で、漢籍から兵法・武術、軍記・歴史、仏書、国学、地方書・名所図会類、幕末・維新記録、読本・絵草紙に至るまで、多岐にわたる。 ②「法音寺資料」 学園創立期に法音寺より、本学にご寄贈いただいた江戸時代中期から明治期を中心とした資料(約4,000冊)。 佛教書、軍記、歴史書、名所記など各分野多岐にわたる。
社会福祉資料の収集 <small>現在収集されている社会福祉資料収集についての歴史は古く、大学創設当初の人間関係研究所における収集に遡ります。その数、およそ19,000点です。</small>	○社会福祉研究の領域は、関連分野を含め多様であるため、本学社会福祉資料のコアになるものとして、毎年度自治体や社会福祉協議会などに対して寄贈依頼を行うなど、収集に努めています。	主に以下のような資料を収集しています。 1) 国の政策に関する資料、審議会・研究会等の資料、各省庁の部・局発行資料、行政要覧、実態調査報告 2) 各県、市区の民生関係事業報告 3) 社会福祉協議会等の事業報告 4) 社会福祉関係機関・団体の年次報告

◎ 企画展示コーナーのご紹介 読書への誘い

「図書館所蔵の図書・資料をぜひ利用してほしい」……

そんな思いを込めて、季節や月ごとに「企画展示コーナー」を設置しています。

美浜・半田・東海キャンパスと、それぞれの特色や個性で展示される図書は館外貸出できます。

時 期	美 浜	半 田	東 海
4月～5月	美浜町・学生サークルのコラボによる出版物紹介	大学生生活に役立つ本、集めました！	看護学部新入生向図書の紹介
	コミュニケーションスキルアップと論文の書き方		講義推薦図書の紹介
	大学生の新生活特集		
6月～7月	イギリスファンタジー	スキマ時間で資格取得 —大学生だからできること—	レポート・論文の書き方
	ストレスと上手にコントロール		
	源氏物語の世界	澤田瞳子氏の著作展示	
	アニマルセラピー		
	鈴木修学先生と中部社会事業大学の創立	(学生選書ツアー図書)	
8月～9月	今年の夏はなににする？	(学生選書ツアー図書)	(学生選書ツアー図書)
	異常気象		
	賢くなりたいと、思ったときは新書を読んでみる		
10月～11月	防災・減災 ～いのちとくらしをまもるために～	防災・減災 ～いのちとくらしをまもるために～	防災・減災 ～いのちとくらしをまもるために～
	子どもも大人も楽しめる絵本		いまこそ知りたい沖縄
	70周年記念事業企画 浅賀ふさと日本福祉大学	気候変動について考える	SDGsを知ろう
	いろいろな「じてん」		
	資格にチャレンジ	(学生選書ツアー図書)	看護技術 (バイタルサイン)
	池上彰特集		
12月～1月	あの人が書いた本	(学生選書ツアー図書)	レポート・論文の書き方
	角野栄子氏の著作展示		
	スマホで読む本		
	冬休みの友		
2月～3月	平和について考える	AI LOVE	看護実習～実習応援～
	ベルサイユとフランス革命		
	SNSとネット社会		



2023年度 各キャンパスの企画展示図書より

美浜本館

2023年 4月

美浜町と大学や本学学生サークルとの コラボによる出版物紹介



美浜町の魅力やおすすめのお店・観光スポット情報満載の図書・資料を集めました。

「進学ではじめて美浜町に来た!」「美浜町でひとり暮らしスタート!」の方も、大学生活を満喫しましょう! 美浜で過ごす大学生活、楽しんでくださいね!

2023年11月

「魔女の宅急便」原作者、児童書作家、 本学客員教員 角野栄子先生の作品を紹介



本学客員教授の角野栄子先生（児童文学作家、魔法の文学館館長）が、第33回紫式部文学賞を受賞されました。受賞作は『イコトラベリング 1948-』です。栄えある受賞と魔法の文学館の開館を記念して、図書館では、角野栄子先生の作品を展示します。展示図書は借りることができますので、是非この機会に角野栄子先生の世界をお楽しみください。

紫式部文学賞とは…

伝統ある日本女性文学の継承・発展と、市民文化の向上に資することを目的とした文学賞で、作者が女性で前年に発表された文学作品が対象。

半田分館

2023年10月-11月

気候変動について考える



東海分館

2023年 4月

看護学部新入生向け図書の紹介



全館

2023年10月

防災・減災 -いのちとくらすをまもるために-



名古屋分館

2023年 4月

レポート・論文の書き方

